

学校名	県立山形聾学校
交流団体	山形大学サークル「和 Be（あえべ）」
活動テーマ	地域交流を通じた学習活動「聴覚障がいへの理解を広めよう」

普段接することのない大学生と活動することで、聾学校の生徒が自分の障がいに向き合うとともに、研修会の開催により、山形大学の学生や地域の学校の児童が聴覚障がいへの理解を深める機会となりました。

〈活動内容〉

- 高等部普通科と専攻科の生徒が、山形大学の学生と共に、聴覚障がいの理解啓発を図る研修会の企画や準備に取り組みました。
- 高等部の生徒と大学生で作成した「聴覚障がいに関する研修」を山形大学や地域の学校において実施し、障がい理解を含めた交流につなげました。



〈活動成果・今後について〉

- 普段接することのない地域の大学生との交流を複数回行うことで、自分の障がいやコミュニケーション力について理解を深めました。
- 生徒自身が体験した困った状況や聞こえづらい状況を大学生と対話しながら整理したり、ジェスチャーや音声認識システム、メモなどを活用してグループトークを行ったりすることで、必要な配慮や周囲への依頼などについて考え、自ら伝えることを実践的に学びました。
- 今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

